

スポーツ指導者の資質能力向上のための有識者会議（タスクフォース） 報告書（案）【概要】

資料3

I. 新しい時代にふさわしいコーチング 及びコーチ

スポーツを人類の調和のとれた発達に役立てるとのオリンピズムの根本原則への深い理解

【コーチング・コーチ】

- コーチングは競技者の目標達成のためのサポート活動。コーチングを行う人材がコーチ。
- **暴力行為根絶の強い共通認識が必要**
- 少子高齢化・高度情報化・グローバル化の進展に対応することが必要

【新しい時代にふさわしいコーチング・コーチ】

- 新しい時代にふさわしいコーチングとは、**競技者やスポーツそのものの未来に責任を負う社会的な活動であることを常に意識して行われるもの**
- コーチはそれを常に自覚して活動する主体
- 我が国の誇る武道の伝統やフェアプレー精神・スポーツマンシップ等を生かすことも大切

具体的には、

- 強制ではなく人格の尊重
- 練習の量だけではなく質
- 社会の規範を遵守

II. コーチング及びコーチの現状と課題

1. コーチングの現状と課題

- 暴力問題によるスポーツの価値の危機
- コーチングに必要な知識・技能や活用の不足
- 子供に対するコーチングの難しさ
- コーチング環境の閉鎖性

2. コーチの現状と課題

- コーチ育成制度が不十分
- 女性コーチ数の不足
- 継続的・競技横断的な学習法や機会の不足
- コーチのマッチングや活用のための評価方法の確立が不十分
- グローバル化への対応が不十分

III. 新しい時代にふさわしいコーチング及び コーチの確立に向けて

1. コーチングの改善

- 「**コーチング推進コンソーシアム**」（仮称）の設置
- **コアカリキュラム検討**
- 長期的視野でコーチングを行う者への顕彰
- コーチング環境の改善やメンター制度の検討

2. コーチの資質能力向上

- **原則、全てのコーチの資格保有に取り組む**
- 女性コーチの増加
- 競技を超えたコーチ・コミュニティの創出
- コーチ活用のための評価方法の検討
- グローバルに活躍できるコーチの育成・輩出

スポーツの価値・健全性の向上

国家戦略としてのスポーツ立国の実現